

文化財や美術館を手掛ける総合建設業 環境対策工事など あらゆるニーズにお応え

拓栄建設



「省エネガラスコート」の施工例

拓栄建設(大田区南馬込、村松隆
康社長、03・3776・2341)

は、「技術と信頼」をモットーに、一般的な住宅から特殊技術を必要とする社寺仏閣、美術館等の新築・改修工事まで幅広い工事を取扱う建設会社である。同社の代表的な施工例として、文京区の指定文化財に認定されている大本山護国寺の薬師堂改修工事や、昭和の初めまで地元の馬込地区に多く住んでいた文士たちの記念館がある。

文化財の改修工事は、指定されている建物が、長い年月を経て醸し出す建物の趣きや質感、佇まいを損なわないように、専門家や担当者と修繕方法からその範囲に至るまで、念入りに打ち合わせを行うのが一般的であり、これには、高度な技術力はもちろん、高い施工管理能力が求められる。

近年同社では、省エネ対策

工事にも力を入れており、省エネ研究、開発では日本でもトップクラスのECOビジネス倶楽部の一員としても活動をしている。そうした中で同社が勧めているのが、「省エネガラスコート」。これは、従来の断熱ガラスや遮熱フィルムとは異なり、耐久性が既存のタイプの2倍以上あり、価格は半額以下という優れたもの。大掛かりな工事が必要なく既存の窓ガラスに設置でき、ビルでも個人住宅でも設置可能であり、近年の節電ブームと相まって問い合わせが殺到している。

この他、同社では、賃貸アパート、マンションの入居率向上に向けたリフォーム提案も行うなど、建築、リフォームに関する様々なニーズに応えている。

詳しくはホームページにて

(<http://w1.alpha-web.ne.jp/~takuei/>)



泉岳寺赤穂義士記念館の改修工事